

prince レディーステニストーナメント 2026 第16回 岐阜県大会

主催	日本女子テニス連盟岐阜県支部
共催	グローブライド株式会社 各務原市テニス協会
後援	日本女子テニス連盟 岐阜県テニス協会 岐阜新聞社、岐阜放送
大会委員長	藤原 ちえみ
ディレクター	白岩 美幸
レフェリー	安藤 千賀子
大会委員	梶田 恵
日時	2026年7月6日(月) 予備日7月16日(木) 受付時間 午前8:30~8:55 開会式 午前9:00~ 試打会時間 開会式終了後(各ラウンドロビンのコートにて)
会場	岐阜車体スポーツ広場(砂入り人工芝) 〒509-0105 各務原市各務山の前町1-47-1 TEL:058-370-2818
種目	女子ダブルス
試合方法	「JTA テニスルールブック 2026」に準ずるラウンドロビン方式後決勝トーナメント 6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式) 決勝トーナメントは4ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式) セルフジャッジ、ウォームアップはサービス4本とする

ラケットはすべての試合で prince ラケットを使用してください
※会場にてモニターラケットを用意しています(新製品含む)

使用球	prince ボール・イエロー
服装	テニスウェア、長ズボン可、ロゴ規定なし、フェイスマスク不可
表彰	優勝~4位
その他	★『 prince ウエアベストドレッサー賞 』 prince 新製品(ウェア、バイザー、シューズ等)を多く着用して参加された1ペア(2名) ★『 prince ラケット購入キャンペーン 』 当日会場で使用していただき、後日対象ラケットを購入された方を対象に キャンペーンを実施いたします。 ・本大会は、すべてのプレイヤーを公平に扱います。 ・試合中に発生した傷害についてはその場で対応はしますが、 それ以後の責任は負いません。 ・本要項は、天候等やむを得ない事情により変更されることがあります。 ・この大会で得た個人情報大会以外の目的には使用しません

princeレディーステニストーナメント 2026 (A) 2026.7.6

Aブロック(Aコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	平野愛加・細川美香 (郡上市テニス協会)	/					
2	中嶋美佐子・福島美紀子 (WiM岐阜・アイエヌオー)		/				
3	中野美和子・水野昌子 (Link TS・T.OS)			/			
4	酒向露美・青野真由美 (山下クラブ・チームi)				/		

Bブロック(Bコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	陶川香央里・林こず枝 (恵那峡TC)	/					
2	渡邊恵美・小酒井理絵 (郡上市テニス協会)		/				
3	堀由美・岡田美穂 (岐阜西TC・BREAK BACK)			/			
4	西脇佐和子・津田昌子 (西濃クラブ・Link TS)				/		

Cブロック(Cコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	二村洋子・日下部由美 (西濃クラブ・アイエヌオー)	/					
2	後藤直子・森本寿枝 (ミキヤTC)		/				
3	長尾尚子・三間千香子 (フリー・大野TC)			/			
4	久野康子・長江光子 (T.OS・ミキヤTC)				/		

Dブロック(Dコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	広瀬里美・渡邊ひろえ (ら・ぼーむ)	/					
2	永田寿子・倉知尚代 (TPOS・WiM岐阜)		/				
3	加藤桂子・入木田真希子 (郡上市テニス協会)			/			
4	久保一恵・大野博美 (岐阜西TC・大野TC)				/		

princeレディーステニストーナメント 2026 (B) 2026.7.6

Eブロック(Eコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	嶺川美奈子・前島百合子 (TPOS)	/					
2	中島恵子・名和恭子 (アイエヌオー・WiM岐阜)		/				
3	渡辺美由紀・服部佳代子 (郡上市テニス協会)			/			
4	田口泉・脇田清美 (恵那峡TC・中津クラブ)				/		

Fブロック(Fコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	井平早百合・古田満知子 (Link TS・スポーツジロー)	/					
2	林公子・搦本佳子 (WiM岐阜・多治見市テニス協会)		/				
3	安藤美奈子・中瀬夏美 (Link TS・WiM岐阜)			/			
4	大畑明子・加藤美智子 (郡上市テニス協会)				/		

Gブロック(Gコート) 試合順 1-2 3-4 1-3 2-4 1-4 2-3

	氏名 (所属)	1	2	3	4	勝敗	順位
1	伊澤映里香・松原理沙 (Link TS)	/					
2	久納智子・高桑陽子 (長良川ローン)		/				
3	工藤栄子・山本育子 (西濃クラブ・BREAK BACK)			/			
4	熊田幸子・加納明美 (アスクグリーン・西濃クラブ)				/		

Hブロック(Hコート) 試合順 1-2 1-3 2-3 H1位-I1位

	氏名 (所属)	1	2	3	勝敗	順位
1	伊藤豊子・鳥山美樹 (Link TS)	/				
2	林美穂子・浅野輝美 (ら・ぼーむ)		/			
3	松岡那月・武田智子 (西濃クラブ)			/		

Iブロック(Iコート) 試合順 1-2 1-3 2-3 H2位-I2位 H3位-I3位

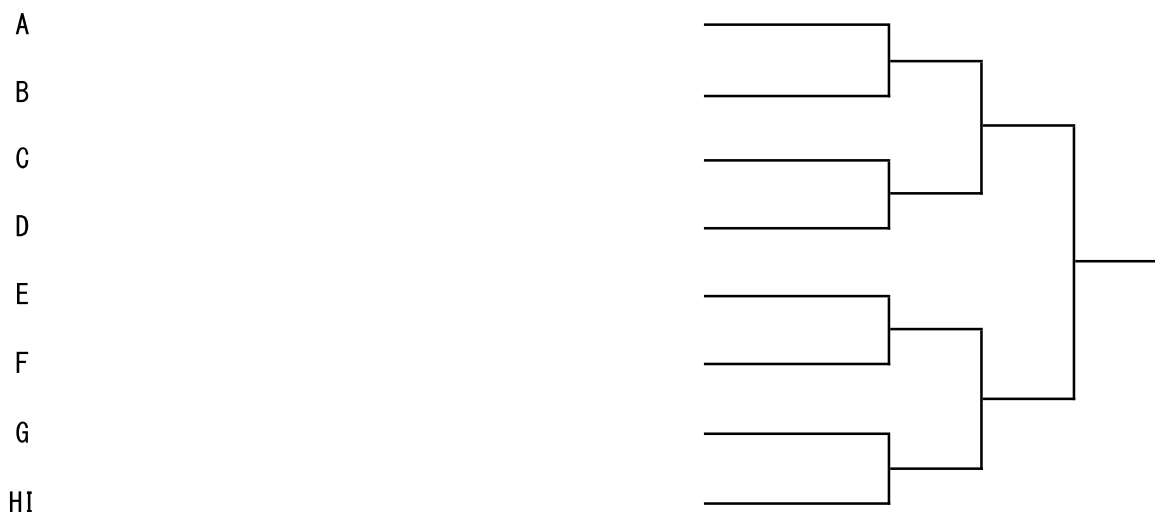
	氏名 (所属)	1	2	3	勝敗	順位
1	山田典美・木野孝子 (アスクグリーン・Link TS)	/				
2	大城佳美 田中れい子 (T.S NAWA・長良川ローン)		/			
3	野口純子・田島稚子 (BREAK BACK・Link TS)			/		

H1位
H2位
H3位

-I1位
-I2位
-I3位

(勝者は決勝トーナメントへ)

決勝トーナメント



※ブロック記号とトーナメント表の記号は一緒です

歴代優勝者・準優勝者

開催年	優勝	準優勝
第1回 2011年	藤井敦子・三嶋 緑	高桑陽子・久納智子
第2回 2012年	森 純子・渡辺里佳	竹村久子・田中朋子
第3回 2013年	松原佳成重・大野聖代	森純子・渡辺里佳
第4回 2014年	梶田 恵・神田尚子	岩崎しのぶ・波多野美樹
第5回 2015年	倉知尚代・丹羽美智子	浅野しのぶ・加藤幸子
第6回 2016年	梶田 恵・神田尚子	渡辺美由紀・服部佳代子
第7回 2017年	後藤直子・森本寿枝	丹羽美智子・倉知尚代
第8回 2018年	岩田真紀・森有光子	小路さおり・目黒かおり
第9回 2019年	森有光子・和田葉子	小路さおり・目黒かおり
第10回 2020年	松原佳成重・奥村花江	倉知尚代・森有光子
第11回 2021年	永田寿子・倉知尚代	加藤桂子・入木田真希子
第12回 2022年	渡辺美由紀・服部佳代子	加藤万由弓・鈴木聡美
第13回 2023年	工藤栄子・山本育子	木寺奈美・加藤恵
第14回 2024年	押谷めぐみ・江藤晴美	木寺奈美・加藤恵
第15回 2025年	野口純子・伊塚真紀	古林真紀・山下恭子
第16回 2026年		

☆注意事項☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイプレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。選手同士その時点のスコアを確認する。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 判定とコールは、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、1 人の選手が行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、1 人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「(サーブの)レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールした選手が「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球がアウトした場合は相手への妨害が起こってないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両選手・チームが判定とコールをすることができる。
7. サーブのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った選手・チームの失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った選手・チームの得点。
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は、第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合、相手選手がプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れたい時
 - ・相手選手の言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時(緊急を要する場合は直ちに)、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。
12. レフェリー、ロービングアンパイアは、コート内外からフットフォールトのコールや選手の判定をオーバールールできる。オーバールール時の対応は、セルフジャッジについての「5.」と同じ。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。